

第3回和東町総合保健福祉施設建設委員会【委員長一任会議】

<協議結果書>

日 時 : 令和4年10月18日(火) 午前9時00分～午前9時50分

会議方式 : WEB会議

出席委員 : 宗田好史〔委員長〕 京都府立大学名誉教授・関西国際大学教授

事務局 : 総合施設整備課(竹谷課長・中嶋)

設計業務受注者 : (株)シーラカンズアンドアソシエイツ (伊藤代表・磯谷・坂田)

協議事項 : (1) 総合保健福祉施設基本設計(最終案)について
(2) 施設基本設計に関する提言書(案)について

協議結果 : (1) 総合保健福祉施設基本設計(最終案)について

→多目的ホールの仕様については、パブリックコメントで4件の意見提出があり、すべて固定ステージ・移動観覧席案(C案)の導入を求めたものであったが、いずれも明確な根拠に基づく意見ではない。必要があるから公共施設を作るのではなく、施設を作れば人が来るといふ、人口増加期ですら考えにくい、まして人口減少を理解しない重大な誤解、あるいは間違った誤解に基づくもので、公共施設建設に際して危険な意見だと考える。

多目的ホールは、整備基本計画に基づき可動間仕切りによる分割使用を可能とした仕様がこれまでの検討経緯や第2回建設委員会で多数意見を占めたことを踏まえ、あえて固定ステージ・移動観覧席に変更するまでの要因はないと判断し、建設委員会の意見としては原案の移動ステージ案(A案)のままとする。

ただし、最終的には町が人口減少下のまちづくりを慎重に考えるか、議会等の一部の意見を尊重するかの判断をされることだと言わざるを得ない状況だと判断した。

また、第2回建設委員会で出された診療所の理学療法室の広さについては、高齢化の進展を踏まえ、専門家の意見等を参酌した上で、町民の健康の維持増進を進めるために必要な面積を確保することが適当である。

(2) 施設基本設計に関する提言書(案)について

→ (1)の協議結果を踏まえ、事務局において素案を作成し、委員長が加筆修正することとする。